ひと

# 「気持ちに張り、感謝」

ボランティアで毎週、盆景を展示

## 大山（おおやま）　清人（きよと）さん

平成13年から毎週1回、ボランティアで手作りの盆景を東松島市図書館に持ち込み、玄関ロビーに展示する。「今では生きがいの一つ。体が丈夫なうちは続けて行きたい」と話す。

やもと野草の会の副会長。13年前から木材を組み合わせて鉢作りから始めていたが、15年の県北部連続地震で半分以上が壊れた。以来、セメントに発砲スチロールを混ぜて丈夫で軽い鉢を作るようになった。

盆景は自然の石や木、苔（こけ）などを使って自由に景色を作り上げる風景美。「朝の散歩中にアイデアが浮かぶ。まちの風景や庭を写した写真集なども参考にします」。イメージがまとまれば、2時間ほどで作り上げるという。

季節に応じて草木や小物を変える。海岸で流木を集めて加工し、家や橋などに見立てる。石灰をかけた石を「雪の岩手山」とするなど想像力も豊か。「命題と盆景を見て納得してもらえるだけでうれしい」と謙遜（けんそん）する。

図書館には毎週火曜日に3作品を持ち込み、週末には水やりに足を運ぶなど管理も自ら行う。「気持ちに張りがあるので風邪も引かない。場所を提供してくれた図書館に感謝したい」と話していた。

東松島市矢本の自宅に妻と2人暮らし。健康の秘けつは趣味を持つこと。

（外処健一）

金曜日掲載